

鈴木 のりこ応援団だより

女性を議会に送ろう

2014年 秋号
(第64号)

発行 のりこ応援団

連絡先 (鈴木)

TEL 57-0450

FAX 54-0323

こども議会を傍聴してきました!!

8月29日、青年会議所主催の『にしお子ども議会』の傍聴で、市の本会議場に行ってきました。

感想は、“模擬議会”という形にこだわりすぎていて、もう少し子どもたちが存分に‘らしさ’を発揮できるとよかったのに。と、少し物足りなさも。

議会の流れは、

- ①西尾駅西広場の利用
- ②西蒲線～みんなが乗りたくなる電車
- ③行きたくなる公共施設

3つのテーマをそれぞれ4グループが意見発表していくというものでした。



子どもたちから出てきた意見の中には、すぐできて、効果もありそうと思えるものもたくさん。

一部を紹介すると、例えば…

☆西蒲線写真コンテスト開催

☆マナカのオリジナルデザイン化など

ぜひ実現を!!



子どもたちだけでなく、たくさんの方が真剣に考えれば、素晴らしい意見、発想をたくさん生み出すことができると思います。みなさん、一緒にまちづくりを頑張っていきましょう!!

辻本 駿



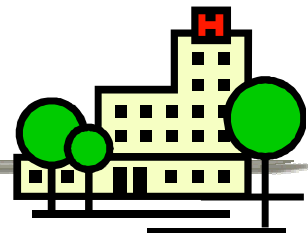
のりこホームページ

<http://www.noriko.to/>

ホットな情報を更新中。 質問メールも歓迎!

にしおの話題から

✓リハビリに力を入れる…市民病院



<リハビリなど各種の専門職員が増えました>

患者数がぐっと増えているのがリハビリテーション科。
1日約178人で、年間4,000人以上の増。現在の体制は、理学療法士8名(+1)、作業療法士3名、言語聴覚士4名(+1)などなかなかのものです。
今は、土日にもリハビリが行われているそうです。



また、薬剤師は16名(+3)。入院患者の投薬指導やベッドサイドで相談にのる時間(前年より200時間以上)を増やしています。
医療相談員も1名増。退院や施設入所時をサポートしています。
臨床工学技士5名(+1)は麻酔医とコンビで手術に当たっています。

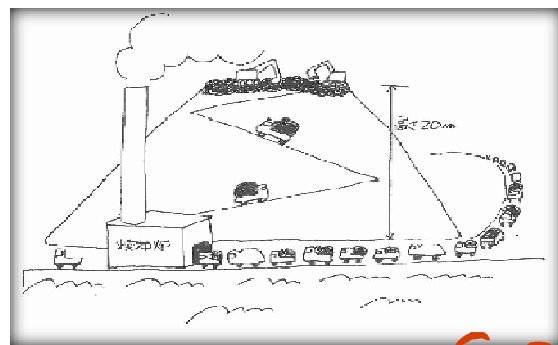


のりこの提言<看護師に専門資格取得を!!>

認知症や救急看護、感染症対策など看護師の専門資格取得を提言しました。
現在も資格をもつ人はいますが、まだ少数。しっかり病院の戦力とするためには、複数人体制が必須。特に、認知症には、看護師の丁寧な対応が大いに必要です。

✓一色産廃問題、市長が「地域会議」をつくるというけれど…

市長は、この10月をめどに、一色の住民を交えた「地域会議」をつくると言います。
メンバーは、一色の町内会関係3名、漁協など産業関係8名、大学教授など有識者と行政の計25名ほどで、「産廃跡地についてどうするのがよいか行政と意見交換、検討する」といいます。



ところが、話をよく聞いてみると、

- ①県は参加しない
- ②会議は非公開。メンバーの氏名も非公開

オカシイですね！

もともと、この問題は、市民の見えないところで、市長から話が始まり、進行しています。
市長は、誰が何を言ったかも公開しない会議で、何を議論せよというのでしょうか？
産廃の許認可権を握る「県」も不参加では、意見も聞けないわけで、会議を開く意義はどこに？
それに、これは、単に一色町だけの問題ではなく、西尾市の将来に関わる問題です。

そもそも「跡地は汚染水さえ出なければ問題はないわけで、どうこうする必要はなく、監視を続けていけばよいのだ」という意見もたくさんあります。

会議が非公開のままでは、新たな建設を容認するのではないかと危ぶむ市民の声も聞かれます。

のりことしては、会議の公開と、一色以外の住民の方々も入れるよう求めています。
今後も、知り得る限りの情報をつぶさにお伝えしていきます。



のりこの議会報告

✓ 来年、介護保険の改悪！！ 老後は大丈夫？

介護保険制度が大きく変更され、来年からサービスの形が変わります。

- ①要介護1・2の人(約2,300人)は、これから特養など施設入所ができなくなり、在宅が基本に。
- ②要支援の人たち(約1,200人)は、介護保険から外され、市のサービスに移る。

さて、市はちゃんと「サービス提供」ができるでしょうか？！

市長との一問一答

<ボランティアに任せられる？>

のりこ:国は、要介護1・2の人たちの生活支援をボランティアやNPOにやらせて、費用を安く押さえる！という方針です。市はどう考えていますか。

市長:ボランティアでは、介護の質と継続性、事故があった時の責任がとれるか等々問題があります。

<認知症対策>

のりこ:施設に入れない認知症の方々が、今でも1,700人もいます。どう対応していくのですか？

市長:「認知症への理解、どこに相談すればよいかの手引き」を作って配ります。

「認知症の初期集中支援チーム」をつくっていきたいです。

<お年寄りのお金の問題>

のりこ:家屋敷など不動産があっても、収入が年金だけのため、サービスを使えない高齢者がいます。不動産を担保にして、生活費を貸し出す制度をつくりませんか。

市長:社会福祉協議会で、生活費を貸し出す制度があります。また、預貯金の出し入れなどを手伝う制度もあるので、市の長寿課に相談して下さい。

<お年寄りランチ>

のりこ:市内の飲食店と提携して「高齢者向けランチ」の提供を考えませんか。

今の配食サービス(本人・市それぞれ300円負担)と同じ経費で、商店街の活性化策にもできるではありませんか。

市長:配食サービスも抜本的に見直すので、検討していきます。

喫茶店の
モーニングサービスくらい
にぎわうと
いいよね

**市長さん、介護予防に力を入れないと、
もっと、お金がかかることになりませんか？！**

<決算委員会>

消防団、1年間活動ゼロの人は22人！

市は、1年間に1度も活動しない団員には報酬は払わないことにしましたが、それでも、そのまま団員として在籍させていました。25年度の活動ゼロは22人(但し、1回でも出れば支給)

市は、来年度から、活動ゼロの団員には、退団を含めた意志確認をしていくとのことです。

中には、1年たっても報酬を受け取るための手続きをしない人が7人(前年は18人)も。これは、活動できない、あるいは、その意志がないという現れ以外の何物でもありません。ようやく、「無理やり」はやめようという方向が出てきたのでしょうか。

『議員NAVI』にのりこさんの記事、掲載される！！

Book

月刊誌『議員NAVI』は、第一法規出版(株)が発行する行政や議員、いわゆるクROUT向けの本ですが、9月10日号に、のりこさんの寄稿「ノウハウ伝授！住民参加型選挙のツボ」が、5ページにわたって掲載されました。



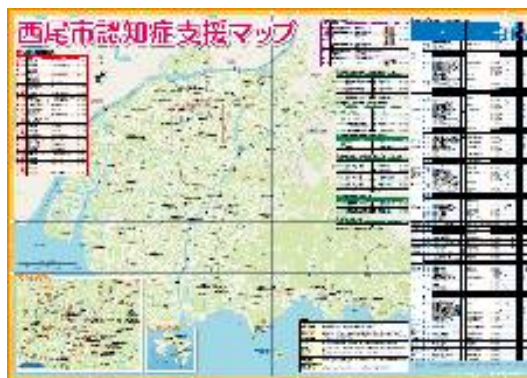
しがらみのない政治活動はクリーンな選挙から生まれます。
「志」さえあれば、そしてステキな仲間がいれば大丈夫というものです。
のりこホームページからご覧いただけます。

「認知症支援マップ」って、知ってる？

市が発行している地図情報です。

□ 親ごさん、お連れ合いが「最近、物忘れがひどい…」とか「怒りっぽくなった」「ちょっと心配…」という方
お医者さん情報、相談できる「地域包括支援センター」の名前や場所が載っています。
(但しマップは残部少数、来年はたくさん作って、町内会長さんにも配るよう求めました。)

□ パンフレット『高齢者を介護されているあなたへ
～介護をひとりで抱え込まないために～』
もあります。どうぞ、市役所長寿課の窓口へ。



施設の情報は、市ホームページ



⇒<http://www.city.nishio.aichi.jp/>
⇒「介護サービスガイド」

12月議会の日程

| 日付 | 曜 | 会議名 | 議題 | 備考 |
|--------|---|---------|------|-----------|
| 11月28日 | 金 | 本会議 | 議案上程 | |
| 12月1日 | 月 | 〃 | 一般質問 | のりこさん登壇予定 |
| 2日 | 火 | 〃 | 〃 | |
| 3日 | 水 | 〃 | 〃 | |
| 5日 | 金 | 文教委員会 | | |
| 8日 | 月 | 厚生委員会 | | |
| 9日 | 火 | 経済建設委員会 | | |
| 10日 | 水 | 企画総務委員会 | | |
| 18日 | 木 | 最終本会議 | 採決 | |

+登壇日時の決定は
11月25日以降です。
+詳しくは議会事務局

✓ 応援団へのカンパ大歓迎・・・鈴木のりこ応援団 〆振替口座00870-11172
応援団だより発行の資金になります。どうぞよろしく。

✓ のりこホームページ ホットな情報を更新中。こちらへもお出かけを！！
<http://www.noriko.to/> 質問メールも歓迎です！

